

AIに聞けば答えが出る時代だからこそ必要な社員教育

～「正解を探す力」よりも「考える力」が企業の競争力になる～

ChatGPTをはじめとする生成AIの普及により、仕事の進め方は大きく変わりました。分からないことがあればAIに質問すれば、瞬時に答えが返ってきます。これからは、企業でもAIを活用することが当たり前の時代になるでしょう。しかし、その一方で社員教育には新たな課題も生まれています。

新人研修や若手社員研修を実施していると、

「どうすればいいですか」

「正しいやり方を教えてください」

「どちらが正解ですか」

このような質問を受けることがあります。

もちろん、分からないことを質問すること自体は悪いことではありません。しかし、**仕事には正解が一つしかない場面はほとんどありません**。例えば、営業であれば、お客様によって最適な提案は変わります。部下の育成も、一人ひとり性格や経験が違えば、指導方法も変わります。クレーム対応も、マニュアルどおりに対応すれば解決するとは限りません。

つまり、仕事で成果を上げるためには、「正解を知る力」よりも、「状況に応じて考え、判断する力」が必要なのです。AIは優れた答えを提示してくれます。しかし、相手の立場や状況を理解し、最適な判断をすることは、人にしかできません。

だからこそ、これから企業が育成すべきなのは、「AIを使える社員」ではなく、「AIを活かせる社員」です。AIの回答をそのまま受け入れるのではなく、「本当にこれで良いのか」

「この会社、このお客様にとって最適なのか」を自ら考えられる社員が、これからの企業を支えていくでしょう。

私たちが研修で重視しているのも、「正解を覚えること」ではありません。

「なぜこの仕事を行うのか」

「相手は何を求めているのか」

「この行動の目的は何か」

このように目的を考える習慣を身に付けることで、想定外の場面でも自ら判断し、行動できる人材へと成長していきます。

AIは今後さらに進化していくでしょう。しかし、人にしかできない「考える力」「判断する力」「コミュニケーション力」の価値は、これまで以上に高まっていくはずです。

当社では、ビジネスマナーや知識を習得するだけでなく、AI時代だからこそ必要となる「考える力」の育成研修を実施しております。

また、企業ごとの課題や業種、受講対象者に合わせたオーダーメイドの研修をご提案しております。

ご興味のある方は下記リンク、またはQRコードよりぜひお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

